

伊吹山を守る「ありがとう」の手紙

山を知り、伝え、感謝する、家族の物語

伊吹山に心うばわれて



▲中山さん姉妹がつくった伊吹山大図鑑

動画で山の危機を伝えたい

中山さんご家族は、大好きな伊吹山の現状を心配し、令和5年度に市が募集した「第3回まいばらメモリアル動画コンテスト」に動画を投稿。

伊吹山を守りたいと切実に訴えかける動画は多くの人の心に響き、コンテストの最優秀賞と企業特別賞をダブル受賞した。

ゆず香さん 5月の観察会から、子どもたちは毎日伊吹山のことを調べ始めました。調べれば調べるほど「いま伊吹山を保護しなくては、取り返しのつかないことになるのでは」と小学生の2人でも感じたことがあります。

そこで家族で相談し、伊吹山を守るためにできる最初の一歩として動画を作成しました。この動画を通じて、伊吹山でいま何が起こっているのか皆さんに知りたいです。

大人顔負けの伊吹山大図鑑

小学生の中山さん姉妹は、伊吹山についてまとめた「伊吹山大図鑑」を手づくりした。図鑑は、植物だけでなく、昆虫やイヌワシなど伊吹山に生息する動植物について網羅され、実際に山に登つて撮った写真や、聞き取り調査の結果が手書きでまとめられている。

絢心さん 図鑑は、毎月観察した植物を月ごとにまとめ、絶滅危惧種や固有種、薬草の効果などを紹介しています。特に頑張ったところは、植物の標本づくりです。伊吹山は植物の採取が禁止されているので、別の場所に行つて植物を採取して標本にしました。全て伊吹山に残っている植物の個体保護のためです。

伊吹山の研究を進めてみて、特にシカの食害は深刻だと感じました。シカが増えすぎたのは、山の気温が上がりシカにとって伊吹山が住みやすい環境になつたから。地球温暖化は私たち人間が、地球の気温を上げないためにアクションを起こさなければならないんです。

▲手づくりの感謝状

「10年後に再会したい米原の宝物 伊吹山」はこちらからご覧いただけます

伊吹山テレビ5月17日号でも
中山さんご家族を紹介しています!

コンテスト受賞動画▶
Check! /

伊吹山特設サイト
Check! /



米原市では令和6年度から「伊吹山植生復元プロジェクト推進室」を立ち上げ、特設サイトの開設や地元企業との連携強化など、様々な取り組みを行っています。

しかし、かつての美しい伊吹山をいち早く取り戻すには、市民の皆さんの協力が必要不可欠です。

私たちの伊吹山を守るため、今それぞれできることを考えてみませんか?



左から中山絢心さん(小学5年生)、実咲さん(小学3年生)、ゆず香さん(母)

独自の生態系と貴重な植物を育み、子どもからお年寄りまで気軽に登ることができる山として観光客にも人気の「伊吹山」。日本百名山の一つで、私たち米原市民にとっても、いつもそばで見守ってくれている伊吹山は特別な存在です。



そんな伊吹山にいま、危機が訪れています。シカの食害により山頂付近の植物は姿を消し、緩んだ山肌は豪雨等で崩れ、麓からの登山ができなくなっています。

今回は、宝物の伊吹山を守るため、自分たちにできることはないかと行動を起こした中山さんご家族を紹介します。

◀伊吹山



実咲さん 獣害ネットの外には、シカが植物を食べた後も残っていて、現実味がありました。また山頂付近で急に動物園の匂いがしたんです。その先を見ると、なんとシカが獣害ネットをかじっていました！人間に慣れた様子で、こっちを見て怖かったです。

絢心さん 獣害ネットの外には、シカが植物を食べた後も残っていて、現実味がありました。また山頂付近で急に動物園の匂いがしたんです。その先を見ると、なんとシカが獣害ネットをかじっていました！人間に慣れた様子で、こっちを見て怖かったです。

令和5年に伊吹山で行われた植物観察会に参加し、伊吹山でしか出会えない高山植物に魅了されたという中山さんが大好きになり、去年だけで8回も登つたそだ。